

会議記録

- 1 名称：令和4年度 第1回小松市環境審議会
- 2 日時：令和4年7月7日（木）14:00～15:30
- 3 場所：小松市役所7階 703・704会議室
- 4 資料：別紙のとおり
- 5 内容（概要）

事務局	<p>本日は、大変お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。ただいまより、令和4年度第1回小松市環境審議会を開会いたします。</p> <p>ただいま、17名中16名の出席をいただいております。</p> <p>小松市環境審議会規則第3条第2項で規定しております、過半数に達しており、審議会は成立しておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>なお、本日の審議会は、1時間から1時間半を予定しております。</p> <p>それでは、会議に入ります前に、小松市長が皆様にご挨拶申し上げます。</p>
市長	(挨拶)
事務局	市長は別の公務がございますため、ここで退席されます。
市長	(退席)
事務局	<p>今年4月1日に当審議会委員の改選が行われ、令和6年3月31日までの2年間の就任をお願いしたところ、皆様に引き受けていただきました。</p> <p>(各委員の紹介)</p> <p>(互選により会長選出)</p>
会長	(会長席へ移動)
事務局	会長よりご挨拶をお願いします。
会長	(挨拶)

事務局	<p>(資料の確認とタブレットの使用方法を説明)</p> <p>それでは審議に移ります。</p> <p>ここからの進行は、審議会規則第3条第1項の規定により、会長にお願いしたいと思います。</p> <p>会長よろしくお願ひいたします。</p>
会長	<p>本日の審議事項は、議案第1号「ごみ減量化・リサイクル率向上に向けた制度見直しについて」、報告事項として、報告事項1「循環型社会に向けたリユース推進に関する協定書について」、報告事項2「カーボンフリー電力の地産地消について」です。</p> <p>これから議事に入ります。</p> <p>議案第1号「ごみ減量化・リサイクル率向上に向けた制度見直しについて」は、市長より昨年9月に諮問を受けたもので、一般廃棄物に係る専門部会で検討いただいております、今年の2月に一定の方向性を示す中間答申を行っております。</p> <p>専門部会でさらに詳細について検討を進めていただき、最終答申を行う予定です。</p> <p>本日は専門部会での検討結果をご説明いただき、これを審議し、審議会からの市長への最終答申としたいと考えております。</p> <p>審議の進め方は、まず部会長から専門部会の報告の説明をいただき、その詳細と最終答申を事務局から説明してもらいます。</p> <p>説明終了後に一括してご意見を頂戴します。</p> <p>それでは部会長お願いします。</p>
部会長	<p>一般廃棄物に係る専門部会の審議内容について報告します。</p> <p>(資料に基づき説明 P. 3～9)</p>
事務局	<p>部会長の説明に対し補足いたします。</p> <p>(資料に基づき説明 P. 10～30)</p>
会長	<p>ただいま部会長・事務局から説明ありました内容について、ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>資料P. 30にある目標について以前の目標の達成が難しくなった要因は何か、またリサイクル率の定義について確認をお願い</p>

	<p>します。</p>
事務局	<p>もともとは令和2年度で50%削減という目標を掲げておりました。これは高い目標を掲げて、そこに向かって努力していきこうという形でいましたが、実際は令和2年度で減量化率16.1%となっています。余りにも目標が高すぎて達成が無理であるというようなご意見が、市民やいろいろな所から過去5年間ありました。</p> <p>そこで現実的な目標に改めようということでこちらの目標を設定したものです。</p> <p>説明会等で、どうやったらこれを達成できるかを説明しています。</p> <p>昨年度ごみの調査を行った結果ですが、可燃ごみの4分の3が生ごみで、その生ごみの中の80%が水分でした。すなわち、1袋のごみの中の60%が水分ということになっています。その他にはリサイクルできる容プラ、紙、古着が約17%入っていました。</p> <p>ここから特に生ごみで今80%の水分を75%に減らしてください、合わせてリサイクルできる容プラ、紙、古着を今の状態より30%減らしてください、あとコンポストや生ごみ処理機を使って生ごみを5%減らしてください、という説明をしています。そこから試算しますと、可燃ごみの減量化率は35.3%、リサイクル率が27%という計算ができます。</p> <p>さらに先ほどのリサイクルできるものを今よりさらに50%ずつ減らすとリサイクル率は30.2%まで上がりますので、達成できるのではということで今回の目標を掲げました。</p> <p>リサイクル率については、全ごみ量が分母で、市のものと民間で回収されるものを合わせたリサイクル量が分子となり、出しています。</p>
委員	<p>分かりました。</p> <p>減量化率の目標については、心理的效果で、あまりに高いものは難しいから、ちょっといけそうな目標を設定している。</p>

	<p>また実際に水分を抜けばそのくらい行けるだろうと説明されているということですね。</p>
事務局	<p>水分と、もう少しリサイクルを頑張りましょうということです。</p>
委員	<p>前も申し上げたかもしれませんが、水分を抜けば焼却場の使用する燃料費もぐっと下がると思って、その辺りを追加で説明されると良いかと思いました。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただ因みにですが、水分がとても多い夏場などで炉の温度が下がってくると必要に応じて燃料を入れることはありますが、大体は自然発火することが多いので、基本的に立上げの時には燃料は使うが、それ以降はほとんど燃料は使わない事にはなっています。</p>
会長	<p>他にはありませんか。</p> <p>無償配布制度についてはやめるのはしょうがないかなということで大方意見は一致していますが、指定袋について、町内の支援制度について、何か意見ございませんでしょうか。</p> <p>無償配布にかかっていた経費を町内支援に回すのは非常にいいアイデアだと思います。</p> <p>指定袋の金額は県内の全市町の中で一番安いですが、値段を変えると買い占めが起きたり、物品の流通にもやりにくくなるということで、無償分がなくなり、今の有償分の値段と変わらないというのは良いかと思います。</p> <p>ごみ袋のデザインについて、他の市町との色やデザインが似ているといったことはチェックしていますか。</p>
事務局	<p>少なくとも色は他市と被っていません。緑は近隣ではここだけです。</p> <p>言い方も「リサイクルできないもやすごみ専用」として、他では「可燃ごみ」などですが、この辺りも他と違うかと。</p> <p>また下の方にゼロカーボンに取り組みましょうということと、リユース・リデュース・リサイクルの表示を入れ、こういったこともあまり他ではやっていないかと思います。</p>

会長	コンポストや生ごみ処理機の利用が増えるといったことに、何か根拠はあるでしょうか。
事務局	具体的にどれだけ、といったものはまだありませんが、予算は確保したいと思っています。町内会の説明でも補助制度があることをPRしていますし、市のホームページや広報などでも都度ご案内していきます。
委員	<p>ごみ袋のデザインで、「リサイクルできない」という風にかかれて</p> <p>います。</p> <p>今年の4月1日からプラスチック資源循環促進法が施行され、歯ブラシなどのプラスチック製品は作る段階からリサイクルを念頭に作る、或いは将来的には各市町村でもプラスチック製品をリサイクルのために回収するということになると思います。</p> <p>ここで「リサイクルできない」と書いてしまうと、今可燃ごみとなっているプラスチック製品を入れてはいけないという風に将来的になるのではと疑問に思ったのですが、この点はいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>仰る通り今年の4月からプラスチック製品もリサイクルが求められるようになっていきます。基本的に環境省では長さ50センチ未満の物を対象としていて、ストローや歯ブラシ、プラスチック性のおもちゃなどを、小松市でどうやって集めて、処理するかということを検討している最中です。</p> <p>容プラと一緒に集めるか、プラスチック製品だけで集めるか等の検討も必要と思っています。</p> <p>容プラと一緒に集める場合では、現状容プラは集めた後人の手で選別を行っています。プラスチック製品が混ざると対応できるのかといったことや、リチウムイオン電池などの禁忌品を省く工程など検討しながら、近い将来はプラスチック製品もリサイクルしたいなと思っています。それまでの間は可燃ごみとして出すということです。</p>
委員	ここでいう「リサイクルできない」というのはペットボトルや容プラ等、市の中の分別でリサイクルできるもの以外をイメー

	<p>ジしているということですね。</p> <p>市民の方がどう捉えるかと思い質問しました。</p>
事務局	<p>ごみの手引きやカレンダーなどで、その辺りを分かりやすく工夫しながらお知らせしていきたいと思います。</p>
委員	<p>松東地区にリサイクルステーションが無く、新設を検討とありますが、場所や時期などはどの程度決まっていますか。</p>
事務局	<p>具体的な場所の調整を行っており、遅くても来年の春からは設置できるようにしたいと考えています。</p>
委員	<p>町内説明会を希望に応じて実施となっており、意識の高い所は説明会を開催しますが、そうでない所はリサイクルリーダー向け説明会でとっていますが、リサイクルリーダーの負担が大きくなりませんか。</p>
事務局	<p>説明会へはリサイクルリーダーか町内会長に来てほしいとしていて、町内に判断をお任せしています。</p> <p>説明会以外でも全市民に向けて広報で中間答申の内容をお伝えしました。それを見て分かったから説明はしなくても良いという町内もありますし、資料だけ回覧するという町内もあります。また制度が決まってから来てくださいという所もありました。色々な要望や機会に合わせて、町内会や団体の方に説明したいと思っています。</p>
委員	<p>現行のごみ袋には誰が出したかを書く欄があり、誰が出したかということ町内で管理していますが、新しい指定袋には記入欄は無いのでしょうか。</p>
事務局	<p>新しい指定袋にも右下に記入欄を設けてあります。</p>
会長	<p>エコロジーパークの持ち込みが増えたということですが、料金の改正については中間答申で出しましたが、今回の最終答申では出さないのでしょうか。</p>
事務局	<p>中間答申で出したことについても、もう一度再確認という意味で最終答申でも入れていただきたいと思っています。</p>
委員	<p>資料 P.23 の議会からの質問について、どう返答されたのかを教えてください。</p>

事務局	資料 P. 42 にありますが、家庭ごみが増えている今だからこそやらなくてはならないという風に答弁しています。単価については、今の単価かそれより安くということでしたので、据え置きとしております。
会長	<p>沢山の貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>議案第 1 号「ごみ減量化及びリサイクル率向上に向けた制度見直しについて」、専門部会の報告内容を市長への最終答申としてよろしいでしょうか。</p> <p>(承認)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>本日の意見も踏まえて最終答申の内容を作成しますが、内容については会長に一任していただいてよろしいでしょうか。</p> <p>(承認)</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>専門部会の皆さんには昨年 10 月からご審議をいただきまして本当にありがとうございました。</p>
会長	<p>続きまして報告事項に移ります。</p> <p>報告事項 1 「循環型社会に向けたリユース推進に関する協定書について」事務局より説明願います。</p>
事務局	(資料に基づき説明 P. 31～32)
会長	<p>この件についてご質問等はございますか。</p> <p>(特になし)</p> <p>では次に報告事項 2 「カーボンフリー電力の地産地消について」事務局より説明願います。</p>
事務局	(資料に基づき説明 P. 33～34)
会長	この件についてご質問等はございますか。
委員	バイオマス発電の非化石価値という部分を詳しくご説明いただけますか。
事務局	<p>ごみを焼却して行う発電をバイオマス発電と一般に言いますが、ごみの中には自然由来のものと石油由来の物があります。</p> <p>紙や草などの自然由来のものはバイオマス、プラスチックなど</p>

	<p>石油由来のものは非バイオマスと呼びます。</p> <p>非バイオマスで発電した部分についてはプラスチック等を燃やしたものではありませんが、バイオマスの発電所で発電され火力発電等で作った電気ではないということで、非化石証明というものを第三者から貰えます。その電力が北陸電力から供給される、その電気がカーボンフリーの電気だという証明を貰うということになります。</p>
委員	燃やすごみは、自然由来の物がバイオマスで、石油由来の物が非バイオマスとのことですが、両方ともバイオマス発電ということになるのでしょうか。
事務局	一般的にごみを燃やした発電はバイオマス発電と呼びます。
委員	石油を燃やすこととの二酸化炭素量の換算で、その分カーボンフリーの電気ができるということがちょっとよく分かりませんが。
事務局	<p>石油を燃やして発電する火力発電の電気はカーボンフリーには絶対になりません。バイオマス発電で石油製品を燃やすと、実際に二酸化炭素量の排出量を算出するときはプラスチックを燃やした分で算出されますが、発電時は計算上はメーカーで作るときに二酸化炭素量は換算され、バイオマス発電所からの電気にはプラスチックを燃やした分も非化石証明が貰えるというルールになっています。</p> <p><※後日上記についての補足資料を委員へ送付></p>
委員	「カーボンフリー」という言葉を使うことに非常に疑問を感じますが、これは変える気はありませんか。
事務局	電力会社との協定の中で示しており、また「カーボンフリー」ということは第三者で証明をいただいているものですので、本件に関しては「カーボンフリー」という風にする予定です。
委員	どちらかという「カーボンニュートラル」という言葉が適当と感じますが、単なる私の考えとしてお伝えします。
事務局	もう少しわかりやすくなるよう勉強します。
会長	他にご意見はございませんか。

	<p>では特に無いようですので、これもちまして審議会を終了したいと思います。皆様には貴重なご意見をありがとうございます。</p> <p>それでは進行を事務局へお返しします。</p>
事務局	<p>会長には進行ありがとうございました。</p> <p>以上もちまして小松市環境審議会を閉会します。ありがとうございました。</p>